

第2回中央委員会開催

24春闘・夏季闘争まとめ

ふなみち

2024年
7月9日(火)
第3605号

船橋市役所
職員労働組合
発行責任者
青木 賀一
編集責任者
神 義明
Tel.047(436)3093
fax(436)3091
Eメール
f-kumiai@alpha.
ocn.ne.jp



組合は、6月25日(火)本庁602会議室において第2回中央委員会を開催しました。24春闘・夏季休暇削減提案阻止の取り組みまとめ、この間の経過報告、今後の取り組み日程、各支部・評議会からの報告などがありました。概要を掲載します。

第2回中央委員会の冒頭挨拶で、青木中央執行委員長から署名取り組みで夏休削減阻止をしたことが報告され、今後より多くの署名をめざし取り組みましょう。秋闘などの交渉には、それぞれの職場で働く生の声を届けるべく交渉に参加を！と呼び掛けました。

また、バスハイクや職場対抗野球などの企画も行われるようになり、組合員が楽しめるような行き



挨拶する青木中央執行委員長

たい場所や持ち込み企画・意見などお待ちしています。厚生部企画参加も促されました。

榊書記長による情勢報告では、昨年同様賃上げ基調ではあるが実質賃金25ヶ月連続マイナスとなっており、全く賃金改善されていないことに加え、公的医療保険上乘せやケアプラン有料化など更なる「ステルス増税」も検討され、労働者の生活悪化は深刻な状況であることが報告されました。この間の経過報告では、春闘中央行動や他組合と共同の船橋地区統一メーデー参加などの主な日程確認、24春闘・夏季休暇削減問題まとめ、具体的な取り組みまとめ、今後の取り組み日程が確認されました。

期末・勤勉手当については、これまでの取り組みの成果と考えており、人手不足解消に繋がることを期待したい。今年度についても取り組んでいきたいと報告がありました。

会場から『大変な職場だけれど、かわい子どもたちのために頑張りましょう』とエールが送られました。

福祉施設支部から

定期総会(6/13)で23活動報告、決算・会計監査、労働安全衛生委員会報告、24方針・予算、保育園の要求まとめなどが行われたこと。

7/16(火)の保育運営課長交渉への参加が呼びかけられました。

4月から国の配置基準が改定されているが、市は間に合わずこれまで通りとなっている。人員が確保できないければ改善されない、このままではいけないのかというところも含め交渉に臨むこと。

病代や支援児標準加配の人員増に繋がったこと。昨年4月の欠員スタートを受け、今年は「しっかりと行え」をカタチにしたこと。とはいえまだまだ不十分であること。



統合保育というところで支援児が多く入っているため、保育が難しくなっているという声も聞かれています。

夏休取得期間が延長されたが、取得しにくい状況は変わらないので改善を目指していくこと。研修への参加促進、などが報告されました。

定年延長者から

『現役なのに7割』になっただが『7割で仕事をする』というわけにはいかない。7割の給与は厳しい。現役なのに7割は悲しい。この気持ちを若い方にして欲しくない。

定年まで10割を求め、若い方々と一緒に運動していきたい。と熱いメッセージも。

組合員入るつ

一人が意見を出しても、それは文句としてしか受け取ってもらえません。組合に加入し、要求として取り上げ、みんなでき取り組むことで、改善に繋がります。

組合に加入し、みんなが働きやすい職場環境にしていきましょう！

参加された皆さん、お疲れ様でした。

